

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二三五八・九・（公衆）四三（22）七二〇七

反処分才二波・才二次反合・運輸保安闘争
に決起せよ！

1/16¹⁸ 全地上勤務者〓減産B行動 1/16より当分の間、
全乗務員〓減産A行動 内房線安全確認行動

全組合員の皆さん！心をひきしめ団結を固め、二波即争の高場をもって、当局、「本部」革マル反動分子一体となった攻撃に反撃しよう。

才二波御争の目標と意義は

① 不当処分抗議、労使運動への選別的不
当介入弾劾、局報号外撤回、内房線を
中心とした線路状態の改善。

② 勤労千葉に対する選別的組織破壊攻撃に決し、一35万人体制に粉碎にむけた先制的、攻勢的率いとして展開するものである。

選別的不当介入弾劾！

『局報号外』を撤回せよ！

ゆれゆれは、才二波御争に突入するにあたって、何よりも『局報号外』に表れた当局の労働運動への選別的不当介入に怒りをもやし、絶対に粉碎する決意をうち固めなければならぬ。

『局報号外』いゆく——「これまでの終緯にかかわらず、当該職員の所屬にかかわらず、当局において現認した職員に對しては免職処分にする……」と公然と「本部革マルと結託した動労千葉破壊を宣言したのである。つまり、これまでの経緯にかかわらず」といつて当局は4・17津田沼を中心とする「本部」革マル反動分子による暴力・窃盗行為を容認し、10・30のみをテツチ上げて津田沼支部長以下四名に処分を行い、今後、名前等の現認でき

る。勤労千葉を選別的に免恥処分の対象にするという露骨極まりないものである。80年突入を前に遂に国鉄当局と勤労本部革マル反動暴力集団が公然と手を組んで勤労千葉を先頭とする叩く部分への弾圧・破壊攻撃にのり出したという事を徹底弾劾し完全に粉碎しなければならぬ。過去一年間あらゆる破壊攻撃が破産した現実をとりつくろうと共に、いよいよ本格段階を迎える「35万人体制合理化」攻撃を国鉄当局と勤労本部が完全に一体化して推進する事を内外に公然と宣言した決定的な証拠なのである。

内房線の線路改善をちとせう。

内房線の線路荒廢は「再建合理化」の矛盾のあらわれである。一月十日の対千鉄局交渉にあらわれた様に当局自身も「線路荒廢」を認めながらも「再建合理化推進」の路線に立つ以上改善の根本策を何一つとして出せないのである。だとすればわれわれに残された道は、かつて外房線の改善並びに組合サイドのダイヤ改訂を勝ちとつた大きな成果を引きつづくものとして全組合員の奥力で今度の内房線や二次反合・運転保安闘争を再現し叩いぬくことである。この叩いが同時に「35万人体制」粉碎へむけた先制的叩いでもある。全組合員の皆さん！ 動労千葉の根性を示す叩いとして、本日からのや二波闘争を爆発させよう！